

近畿大学工業高等専門学校

数理データサイエンスA I 教育プログラム認定制度について

拡大するデジタル社会に対応する人材を輩出する目的として、また、政府が進めるA I戦略や数理・データサイエンス・A I教育プログラムの推進に合わせ、本校においても、教育プログラムを設置しデジタル社会に貢献できる人材を育成します。令和4年度の文部科学省説明会の教育プログラム（リテラシーレベル）の要件における審査項目に対応する下記の所定科目を取得した学生には、「数理データA I教育プログラム修了」を認定する予定です。

- ・プログラム名：数理データサイエンスA I教育プログラム

- ・開講年度：令和4年度

- ・プログラムの運営責任者：校長 齊藤 公博

- ・プログラムを改善・進化させるための体制（委員会・組織等）

教務委員会 責任者名 鈴木隆

- ・プログラムの自己点検・評価を行う体制（委員会・組織等）

自己点検評価委員会 責任者名 齊藤公博

- ・プログラムを構成する授業科目と修了要件

授業科目：情報処理 I a 情報処理 I b、情報処理 II a、情報処理 II b、工学概論 1、

工学実験・実習 2

- ・修了要件：上記の6つの授業科目全てを修得すること

・「数理データサイエンスA I 教育プログラム」修了認定対応科目表

	情報処理 I ^a	情報処理 I ^b	情報処理 II ^a	情報処理 II ^b	工学概論 1	工学実験・実習 2
導入 1-1 社会で起きている変化		○				
導入 1-6 データ・AI 利活用の最新動向		○				
導入 1-2 社会で活用されているデータ	○	○	○			
導入 1-3 データ・AI の活用領域	○	○				○
導入 1-4 データ・AI 利活用のための技術					○	○
導入 1-5 データ・AI 利活用の現場					○	○
基礎 2-1 データを読む		○	○			○
基礎 2-2 データを説明する		○	○			○
基礎 2-3 データを取り扱う		○	○			○
心得 3-1 データ・AI を扱う上での留意事項					○	
心得 3-2 データを守る上での留意事項					○	
オプション 4-3 データ構造とプログラミング基礎				○		

(参考) 令和 4 年 3 月 1 7 日 文部科学省 「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル)」説明会資料

数理・データサイエンス・AI教育プログラム (リテラシーレベル) の要件		
＜5つの審査項目と、モデルカリキュラムの対応箇所＞		
項目	審査項目	モデルカリキュラム対応箇所
項目①	<ul style="list-style-type: none"> 数理・データサイエンス・A I は、現在進行中の社会変化 (第 4 次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等) に深く寄与しているものであること、また、それが自らの生活と密接に結びついているものであること。 	導入 1-1. 社会で起きている変化 1-6. データ・AI利活用の最新動向
項目②	<ul style="list-style-type: none"> 数理・データサイエンス・A I が対象とする「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得ること。 	導入 1-2. 社会で活用されているデータ 1-3. データ・AIの活用領域
項目③	<ul style="list-style-type: none"> 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、数理・データサイエンス・A I は様々な適用領域 (流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等) の知見と組み合わせることで価値を創出するものであること。 	導入 1-4. データ・AI利活用のための技術 1-5. データ・AI利活用の現場
項目④	<ul style="list-style-type: none"> ただし数理・データサイエンス・A I は万能ではなく、その活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、A I 社会原則等) を考慮することが重要であること。 	心得 3-1. データ・AI利活用における留意事項 3-2. データを守る上での留意事項
項目⑤	<ul style="list-style-type: none"> 実データ・実課題 (学術データ等を含む) を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・A I の基本的な活用法に関すること。 	基礎 2-1. データを読む 2-2. データを説明する 2-3. データを扱う